

7.5%減の280・1万ト

第3四半期までの合材製造

東北協
日合協
まと

日本アスファルト合材協会

(10～12月)までの製造量

会(日合協)東北連合会

は、新規と再生を合わせて

(野口典秀会長)がまとめ

280・1万トになり、前

た2025年度第3四半期

年同期実績を7・5%下回

った。累計の内訳は新規78・5万ト(前年同期比19・9%減)、再生201・6万ト(同1・6%減)。秋田県以外の5県で前年同期を下回るなど、工事コスト増に伴う舗装工事発注の減少が大きく影響した。

前年同期比で見たアス合材の製造量は、第1四半期(4～6月)5・7%減、第2四半期(7～9月)9・2%減、第3四半期(10～12月)7・3%減と通年で低調だった。新設道路や大規模修繕工事の発注が抑制され、新規合材の出荷量

は2割近く減少。連合会は第4四半期も同様の傾向が続くと見ている。同期比90%前後で推移した場合、年間製造量は前年度より約30万ト少ない約345万ト前後と過去最低を更新する。

県別の製造数量は、第3四半期までの合計で▽青森40・2万ト(16・2%減)▽岩手42・6万ト(1・4%減)▽宮城58・1万ト(7・6%減)▽秋田38・0万ト(6・4%増)▽山形33・2万ト(6・7%減)▽福島68・0万ト(12・1%減)―だった。

